

駐車場において発生した火災事例一覧

自動車から出火し火災規模が大きくなった火災事例

- 自動車から出火し、出火車両の焼損程度が大きい火災事例28件の概要は下表のとおり
- 車室内から出火 17件、エンジンルームから出火 5件、タイヤから出火 4件、外周部から出火 2件

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
1	12項イ	車庫	放火	何者かが建具店の車庫に侵入し、トラックの助手席シート上の繊維製品に何らかの火源を用いて放火したものと推定する。出火車両及び隣接車両 1 台全焼。	車室内	無	2 台	2 分 11分	建物内部が全面延焼中
2	16項イ	自走式立体駐車場	放火	駐車場に何者かが侵入し、国産乗用車の車室内にライター等で放火し出火したものの。出火車両が全焼するとともに、駐車場の一部及び周囲に駐車中の乗用車 3 両が一部焼損したものの。移動式粉末消火設備は設置されていたが、初期消火なし。	車室内	無	4 台	13分 19分	車両が延焼中
3	13項イ	自走式立体駐車場	人為的行為に起因するもの	駐車中の軽自動車内に火種の残った灰を段ボール箱に入れて積載していたため、段ボール箱に着火し、本火災に至ったもの。出火車両の軽自動車 1 台及び隣接の普通乗用車 2 台が全焼。泡消火設備が設置されており、感知ヘッドは作動したが、流水検知装置が維持管理上の不備で作動しなかったため泡消火設備が不作動であった。消火器による初期消火あり。	車室内	有	3 台	4 分 13分	出火車両を含め 3 台の車両に延焼中
4	13項イ	車庫	車両に起因するもの	車庫内に駐車していた小型除雪車から出火したもので、発見時出火車両は全体に火が回っていた。小型除雪車のバッテリー配線を覆っている配線被覆が経年劣化等により摩耗し芯線が露出しており、塗装が剥離し金属部が露出した走行減速機と通電状態になっていたもの。そこから配線被覆の熔融、発火に至り、周囲の配線被覆に付着した作動油を媒体として延焼拡大したものの。出火車両全焼及び大型除雪車 2 台が一部焼損したものの。消火器による初期消火あり。	車室内	有	3 台	12分 27分	車両が延焼中
5	12項イ	車庫	不明	車庫に駐車中のトラック荷台積載物から出火したものの。家人が就寝中、爆発音を聞き、車庫を見ると、トラックが炎に包まれていた。荷台の段ボールから出火したと推測されるが原因は不明である。車庫内の車両 2 台が全部焼損、隣接する車両 2 台が一部、建物 3 棟が焼損した。消火器による初期消火あり。	車室内(荷台)	有	4 台	10分 20分	建物 1 階、2 階の開口部から火炎が噴出中

自動車から出火し火災規模が大きくなった火災事例

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
6	1項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車中の軽自動車から出火したもので、軽自動車一台、西側に駐車していた車両の一部及び天井面の一部を焼損した。ダッシュボード付近の電気配線が経年劣化により半断線を生じ、通電状態のまま局部的に熱が蓄積し配線被覆に着火し出火したものと推定する。消火器及び移動式粉末消火設備を活用し初期消火を実施するも消火できなかった。	車室内	有	2台	10分	火災盛期であり出火車両より火炎が噴出中
								16分	
7	13項イ	機械式立体駐車場	人為的行為によるもの	駐車場係員が異音に気付き、タワーパーキング内を確認したところ、火炎を発見し、手動にて不活性ガス消火設備を使用し消火した。運転中にライターを車両内に落とし、駐車後降車する際に座席シートを動かしたことによりシートレールに挟まったライターの点火ボタンが押下され、点火された火が周囲可燃物に着火し出火した。出火車両全焼、パーキングパレット2枚焼損。 ※不活性ガス消火設備の火災事例にも記載【事例38】	車室内	有	1台	15分	係員が火災に気付き、手動起動にて不活性ガス消火設備を作動させ消火に成功している。
								28分	
8	15項	車庫	人為的行為によるもの	たばこの火種が車両後部の荷台に落ち積載していた、ウエスなどに着火した。出火車両全焼及び隣接車両一部焼損。	車室内(荷台)	無	2台	9分	車両が延焼中
								19分	
9	13項イ	自走式立体駐車場	人為的要因によるもの	自家用車の車内で、七輪及びバーベキュー用コンロを用いて練炭自殺を図り、七輪の練炭の火が車内に充満した可燃性ガスに引火したことにより、雑誌等に着火し、車内の収容物に延焼拡大し出火に至った。焼損車両6台のうち3台が全焼した。移動式粉末消火設備が設置されていたが、初期消火なし。	車室内	無	6台	7分	複数の車両が延焼中
								18分	
10	16項イ	車庫	人為的行為によるもの	駐車中の軽トラックの荷台に積載していた紙及び布類等に、何らかの火源を用いて放火した。出火車両全焼及び隣接車両2台一部焼損。	車室内(荷台)	無	3台	11分	車両が延焼中
								19分	
11	15項	車庫	人為的行為によるもの	車内で吸ったタバコを灰皿でもみ消し車を離れたが、完全に消火できていなかったため、無炎燃焼を継続後に発火、周囲へ拡大したもの。車内全体及びエンジンルーム内若干焼損。消火器による初期消火あり。	車室内	有	1台	12分	車内から火炎が噴出
								21分	

自動車から出火し火災規模が大きくなった火災事例

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
12	13項イ	車庫	人為的 行為によるもの	車庫内に駐車された普通乗用車から出火した。車両使用者が車内で植木鉢に入れた練炭に火をつけたため、植木鉢底面の間隙から落下した練炭がフロアマットに着火したもの。初期消火は実施されておらず、出火車両全焼、車庫を半焼したほか、林野0.4aを焼損した。	車室内	無	1台	9分	車両が延焼中
								21分	
13	16項口	自走式 屋内駐 車場	人為的 行為によるもの	駐車中のキッチンカーの助手席足元部分に置いていた七輪の中の消火済の備長炭が、何らかの理由で再燃し、その上に衣類等の可燃物が落下し出火したもの。出火車両全焼、その他車両1台、オートバイ1台は一部焼損、建物部分焼。消火器による初期消火あり。	車室内	有	3台	18分	車両の荷台と前方の窓から炎と黒煙が噴出
								22分	
14	15項	機械式 立体駐 車場	人為的 行為によるもの	車室内に捨てたたばこから出火したと推測する。消防隊が二酸化炭素消火設備を手動起動させたが、入庫ゲートのセンサーが何らかの原因で感知し、区画が形成されなかったため作動しなかった。出火車両全焼。 ※不活性ガス消火設備の火災事例にも記載【事例41】	車室内	無	4台	8分	出火車両の左右のタイヤから火炎を確認したため、放水を実施した。
								12分	
15	15項	車庫	放火	何者かが何らかの火源を用いて車庫に駐車中の乗用車に放火したもの。出火車両全焼。	車室内	無	4台	2分	詳細不明
								5分	
16	6項イ	車庫	不明	運転席側ダッシュボード付近にある配線からの出火の可能性は高いが物証がなく不明とする。出火車両全焼。消火器による初期消火あり。	車室内	有	1台	5分	詳細不明
								13分	
17	5項口	車庫	放火	何者かが何らかの火源を用いて駐車中の乗用車のシート付近に放火したもの。出火車両全焼。消火器による初期消火あり。	車室内	有	2台	6分	詳細不明
								11分	
18	4項	自走式 屋内駐 車場	車両に起因 するもの	駐車場内にてエンジンを始動しエアコンをオンにした直後、ボンネットから煙が発生し出火したもの。燃料ホースの経年劣化によりガソリンが漏えいし、オルタネーターの火花により出火に至る。出火車両全焼。消火器による初期消火あり。 ※燃料が漏洩した火災事例にも記載【事例42】	エンジン ルーム	有	1台	4分	車両が延焼中
								13分	

自動車から出火し火災規模が大きくなった火災事例

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
19	15項	車庫	車両に起因するもの	車両の整備中、軽自動車の車両後部に設置されている燃料ポンプの作動確認をおこなおうと取り外し車外に出し、燃料ポンプとバッテリーをケーブルで接続させた際に出火した。燃料ポンプを取り外したことで気化したガソリンが滞留していたため、何らかの原因でケーブルがバッテリーから外れた際の火花により引火したと推測する。出火車両全焼。消火器による初期消火あり。	エンジンルーム	有	1台	4分	車両が延焼中
								12分	
20	13項イ	車庫	車両に起因するもの	車庫内のトラクターから出火した。エンジンメインスイッチの鍵が、何らかの作用により予熱回路と接触して通電状態となり、グロープラグがシリンダ内で長時間にわたり赤熱状態を保ち、内部に堆積しているカーボン等を燃焼させた。その後、エンジンの吸気側と接続しているアルミにウム製のインテークマニホールドを溶融し、周囲の樹脂製の配管や配線等に落下して出火拡大した。出火車両全焼。	エンジンルーム	無	1台	不明	車両が延焼中であり、消防団が放水実施中
								消防隊の放水なし	
21	13項イ	車庫	車両に起因するもの	車庫に停車中の移動販売車のサブバッテリー充電中に出火した。車両用ブレーカーとサブバッテリー充電器間の配線が何らかの要因により短絡したと推測する。出火車両全焼及び車庫半焼。	エンジンルーム	不明	1台	5分	詳細不明
								12分	
22	13項イ	車庫	人為的行為によるもの	キャブレターが外されていることに気づかずに燃料ポンプを回したため、燃料が漏れいしペーパーが発生、セルボタンを押下したため、セルモーターもしくはディストリビュータから発生した火花に引火した。出火車両全焼。 ※燃料が漏洩した火災事例にも記載【事例52】	エンジンルーム	不明	2台	10分	詳細不明
								19分	
23	5項口	自走式屋内駐車場	放火	何者かが灯油を浸み込ませた紙屑に火を点け、駐車場に置かれた車両2台のタイヤ付近に放置し出火した。出火車両及び隣接車両全焼、建物部分焼。	タイヤ	無	2台	5分	車両が延焼中
								13分	
24	13項イ	自走式屋内駐車場	放火	何者かが、何らかの火源を用いて普通乗用車の右後輪タイヤ付近にビニール袋に入れた可燃物を置いて火をつけたため、タイヤに着火した。出火車両全焼、隣接車両一部焼損。消火器による初期消火あり。	タイヤ	有	2台	5分	車両が延焼中
								13分	

自動車から出火し火災規模が大きくなった火災事例

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
25	16項ロ	車庫	人為的要因によるもの	トラック荷台部分を補修のため鉄骨材を溶接して取り付けしていたところ、溶接の赤熱したスパッタ（溶接片）が後輪タイヤに落下していたことに気付かず火災となったもの。火災に気付いた家人ら数人が粉末消火器4本を使用し消火を試みたが消火できず、当該建物と隣接する住家及び非住家が焼損、さらに敷地内にあったトラック5台及びタイヤ130本も焼損したもの。	タイヤ	有	5台	22分	出火建物及び隣接建物は延焼中であり、敷地内にあるダンパー及び多量のタイヤも延焼中であった。
								41分	
26	5項ロ	自走式屋内駐車場	放火	何者かが駐車中の乗用車の後輪に放火したもの。出火車両及び隣接車両全焼、消火器による初期消火あり。	タイヤ	有	2台	3分	乗用車2台から火炎が噴出中
								12分	
27	13項イ	自走式立体駐車場	走行中の事故に起因するもの	走行中の乗用車から出火したもの。自走式駐車場1階に入庫しようとした乗用車の車体左下部から出火。車体下部燃料タンクに跳ね上がったグレーチングが接触して損傷、燃料が漏れ、高温のマフラーまたは、後輪ブレーキの熱で気化した燃料に、何らかの原因で発生した火花が引火したもの。出火車両全焼。 ※燃料が漏洩した火災事例にも記載【事例50】	車両下部	無	1台	3分	車両左側下部から炎の噴出を確認
								13分	
28	5項ロ	車庫	放火	何者かが何らかの火源を用いて駐車中のタクシーのリアバンパーに放火したもの。出火車両全焼。	バンパー	不明	1台	11分	詳細不明
								16分	

泡消火設備が作動した火災事例

● 泡消火設備が作動した火災事例9件の概要は下表のとおり

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
							消防隊の放水まで	
29	16項イ	自走式屋内駐車場	人為的な行為によるもの	駐車中の乗用車から出火したもの。運転席にいた者がガスライターに携帯用ガスボンベからガスを充てん中、助手席にいた者がたばこを吸うため、ライターで火をつけたところ、ガスに引火し火災になったもの。負傷者2名。車室内焼損。	車室内	1台	4分 21分	泡消火設備が作動中であり、高さ約1.5mの火炎を確認した。
30	16項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車中の無人の乗用車から出火したもの。当該車両のエンジンシリンダーヘッドカバーとシリンダーブロックの隙間からエンジンオイルが染み出し、直下のエキゾーストマニホールド滴下。駐車直後の温度が上昇したエキゾーストマニホールドにより付着したエンジンオイルが発火し、周囲の合成樹脂パーツに延焼したものと推定。エンジンルーム内焼損。	エンジンルーム	1台	24分 33分	泡消火設備（閉鎖型泡消火システム）が作動中であり、ボンネット内に火炎を確認した。
31	13項イ	自走式屋内駐車場	放火	駐車中の無人の乗用車から出火したもの。右側フロントフェンダーに何者かが有炎火源を用いて放火したもの。車体外周部若干焼損。	フロントフェンダー	1台	7分 15分	泡消火設備によって消火には至らず、関係者により消火器2本を使用し消火されていた。
32	13項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車中の無人の軽自動車から出火したもの。電動クーリングファンからの出火と判定したが、出火原因については不明。エンジンルーム内焼損。	エンジンルーム	1台	10分 17分	泡消火設備が作動中であり、ボンネット内からの火炎の噴出を確認した。
33	13項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車中の無人の軽自動車から出火したもの。車両フロントエンジン部分から出火しているが出火原因については不明。エンジンルーム内焼損。	エンジンルーム	1台	5分 不明	泡消火設備が作動中であり、ボンネット内からの火炎の噴出を確認した。

泡消火設備が作動した火災事例

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
							消防隊の放水まで	
34	16項ロ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車されていたマイクロバスが長時間の間アイドリング状態であったため排気管が高温となり、車両周囲に積載されていた多数のダンボールが排気管に接触していたため、ダンボールに着火し、火災に至ったもの。泡消火設備が作動し、消火に至る。車両の外周部若干焼損。	駐車場内のダンボール	1台	45分 消防隊の放水なし	消火済み
35	16項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	油圧装置のオイルが何らかの要因により漏えいし、排気管に滴下したため出火したもの。消火器を用いて初期消火を実施したが、消火に至らず、泡消火設備が作動した。エンジンルーム内焼損。	エンジンルーム	1台	6分 11分	詳細は不明であるが、出火箇所より、消防隊到着時、泡消火設備は作動していたが、エンジンルーム内に火炎が残っていたと推測される。
36	16項イ	機械式地下駐車場	車両に起因するもの	改造及び経年使用によりフォグランプのリフレクター等の樹脂部分が溶融し、高温となったフォグランプバルブに接触し出火したもの。消火器を用いて初期消火を実施したが、消火に至らず、泡消火設備が作動した。右前方外周部焼損。	フォグランプ	1台	3分 6分	詳細は不明であるが、出火箇所より、消防隊到着時は泡消火設備によって消火されていた可能性がある。
37	16項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	フォグランプのバッテリーからバルブに伸びる配線の途中に設けられたリレー部で接触部過熱が起こったものと推測する。消火器を用いて初期消火を実施したが、消火に至らず、泡消火設備が作動した。エンジンルーム内焼損。	エンジンルーム	1台	10分 16分	詳細は不明であるが、出火箇所より、消防隊到着時、泡消火設備は作動していたが、エンジンルーム内に火炎が残っていたと推測される。

不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備における火災事例

● 不活性ガス消火設備、ハロゲン消火設備における火災事例4件の概要は下表のとおり

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
							消防隊の放水まで	
38	13項イ	機械式立体駐車場	人為的行為によるもの	駐車場係員が異音に気付き、タワーパーキング内を確認したところ、火炎を発見し、手動にて不活性ガス消火設備を使用し消火した。運転中にライターを車両内に落とし、駐車後降車する際に座席シートを動かしたことによりシートレールに挟まったライターの点火ボタンが押下され、点火された火が周囲可燃物に着火し出火した。車両1台、パーキングパレット2枚焼損。	車室内	1台	15分	係員が火災に気付き、手動起動にて不活性ガス消火設備を作動させ消火に成功している。
							28分	
39	16項イ	機械式立体駐車場	不明	タワー式立体駐車場内に駐車された車両から、何らかの原因で出火したと推測されるもの。出火原因等は不明。立体駐車場内機器について、電気系統・熱源・配線関係を調査するも、出火に至る原因はないため立体駐車場内機器からの出火ではないと推測する。	不明	14台	1分以内	消防隊到着時、立体駐車場の屋上と出入口の解放された扉から煙が出ているのを確認。その後、出入口扉を閉鎖し、ハロゲン化物消火設備を起動し、約一時間後出入口扉を開放するが、炎を確認したため屋内侵入し、放水にて鎮火した。
							8分	
40	16項イ	機械式立体駐車場	不明	不活性ガス消火設備が作動しなかった事例 駐車中の乗用車から出火した。当該建物の居住者が帰宅した際、自動火災報知設備が鳴動していたため、駐車場内を確認すると、駐車している乗用車から炎が出ているのを発見した。車両のエンジンルーム内からの出火は認められるが、出火原因は不明。自動火災報知設備は感知し鳴動したが、窒素消火設備は作動していない。センサーが異常を感知し、自動でゲートが開放されたと推測する。	不明	2台	21分	消防隊現場到着時、駐車場のゲートは開放されていた。駐車中の乗用車のフロント部分から炎が噴出しており、消防隊の放水により鎮火した。
							23分	
41	15項	機械式立体駐車場	人為的行為によるもの	不活性ガス消火設備が作動しなかった事例 車室内に捨てたたばこから出火したと推測する。消防隊が二酸化炭素消火設備を手動起動させたが、入庫ゲートのセンサーが何らかの異常を感知し、区画が形成されなかったため作動しなかった。出火車両は全焼。	車室内	4台	8分	出火車両から火炎を確認したため、放水を実施した。
							12分	

燃料が漏洩した火災事例

● 燃料が漏洩した火災事例11件の概要は下表のとおり

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
42	4項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車場内にてエンジンを始動しエアコンをオンにした直後、ボンネットから煙が発生し出火した。燃料ホースの経年劣化によりガソリンが漏えいし、オルタネーターの火花により出火に至る。出火車両全焼。消火器による初期消火あり。	エンジンルーム	有	1台	4分	詳細は不明であるが、延焼中であつたと推測される
								13分	
43	13項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	走行中に異音が発生したため、上記場所に駐車したところ、座席付近より出火した。燃料パイプからガソリンが漏洩していたためエンジンが不調となり、上記場所へ駐車した直後、車体内に滞留していたベーパーガスにリレー火花が引火、漏れ出したガソリンに着火したものである。オートバイ一部焼損。消火器による初期消火あり。	オートバイ	有	1台	3分	消火器で初期消火が行われたため、消防隊到着時は鎮圧状態
								8分	
44	13項イ	車庫	人為的行為によるもの	ガレージ内においてストーブをつけ、2輪自動車の整備中に燃料タンクのホースからガソリンが漏れ、ストーブを緊急消火した際に一時的に炎があがり、ガソリンに引火し出火した事案である。出火車両を含むオートバイ5台全焼、自動車1台一部焼損。	オートバイ	無	6台	9分	車庫より火炎が噴出中
								17分	
45	15項	車庫	人為的行為によるもの	中型自動二輪車のシリンダープラグを外して整備をしていたところ、スパークプラグを外してエンジンを始動したことにより、ガソリンがシリンダーから噴出し、車体の左側にかかり、プラグコードからのスパークにより引火したものと推定する。オートバイ一部焼損。消火器による初期消火あり。	オートバイ	有	1台	事後聞知	消火器で初期消火が行われたため、消防隊到着時は鎮圧状態
								消防隊の放水なし	
46	13項イ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	運転手が停車中の乗用車のエンジンを始動したところ、ボンネットの隙間から白煙が噴出した。何らかの原因によりガソリン漏れが生じ、漏洩したガソリンが気化し、スタータモータ内に滞留していたところに、運転者がエンジンを始動させたためスタータモータの火花がガソリンベーパーに引火した。エンジンルーム内焼損。泡消火設備は不作動。消火器による初期消火あり。	エンジンルーム	有	1台	13分	消火器で初期消火が行われたため、消防隊到着時は鎮圧状態
								20分	

燃料が漏洩した火災事例

事例	防火対象物の用途	出火場所	出火原因	火災概要	出火箇所	初期消火	車両焼損台数	出火から入電まで	消防隊到着時の状況
								消防隊の放水まで	
47	16項イ	自走式立体駐車場	車両に起因するもの	駐車中の乗用車から出火。運転手がエンジンをかけたところ、ボンネットから白煙が発生し、車を降りて確認するとエンジンルームの下から出火しているのを発見した。燃料パイプの経年劣化により燃料が漏洩、デストリビュータの火花が引火し火災に至ったもの。エンジンルーム内焼損。消火器による初期消火あり。	エンジンルーム	有	1台	不明	初期消火が行われたが鎮圧せず、エンジンルームに火炎を確認
								不明	
48	5項ロ	自走式屋内駐車場	人為的行為によるもの	バイク中央部に取り付けられたガスケットを取り替えようと燃料タンク接続部のナットを緩めたところガソリンが床面に漏れ、その場でたばこを吸おうとライターを点火したため、気化したガソリンに引火したもの。オートバイ1台及び自動車1台全焼、他詳細不明。	オートバイ	無	6台	5分	詳細は不明であるが、延焼中であつたと推測される
								7分	
49	5項ロ	自走式屋内駐車場	車両に起因するもの	駐車中のバイクから白煙が出ているのを通行人が発見したもの。自動二輪車フューエルチューブが経年劣化により亀裂が生じ、同亀裂から漏洩したガソリンがベーパー化し、何らかの火源により引火し出火したものである。オートバイ全焼。消火器による初期消火あり。	オートバイ	有	1台	3分	消火器で初期消火が行われたため、消防隊到着時は鎮圧状態
								8分	
50	13項イ	自走式屋内駐車場	走行中の事故に起因するもの	燃料タンクが走行中に破損した事例 走行中の乗用車から出火したもの。自走式駐車場1階に入庫しようとした乗用車の車体左下部から出火。車体下部燃料タンクに跳ね上がったグレーチングが接触して損傷、燃料が漏れ、高温のマフラーまたは、後輪ブレーキの熱で気化した燃料に、何らかの原因で発生した火花が引火したもの。出火車両は全焼。	車両下部	無	1台	3分	車両左側下部から炎の噴出を確認
								13分	
51	13項イ	車庫	車両に起因するもの	キャブレターの接続部パッキンの劣化によりガソリンが漏えいし、ベーパーが発生、セルを回したことによりディストリビュータの火花が引火し出火したもの。エンジンルーム内焼損。移動式粉末消火設備を用いて初期消火がされたがボンネット内に薬剤が届かなかった。	エンジンルーム	有	1台	3分	詳細不明
								7分	
52	13項イ	車庫	人為的行為によるもの	キャブレターが外されていることに気づかずに燃料ポンプを回したため、燃料が漏えいしベーパーが発生、セルボタンを押下したため、セルモーターもしくはディストリビュータから発生した火花に引火したもの。出火車両全焼。	エンジンルーム	無	2台	10分	詳細不明
								19分	